

春野菜の価格高騰に対する取り組みについて

- 22 年 4 月 16 日夕方、「野菜需給協議会幹事会」での内容をふまえ、農水省生産局長より本会理事長宛てに「野菜の供給確保について」（出荷の前倒しや規格外品などの野菜の出荷促進に対する協力）を依頼された。
- 上記依頼を受け、本会は同日、県団体に対し出荷促進に対する協力要請をおこなった。
- 22 年 4 月 20 日、本会は、春きゃべつ、たまねぎの 2 品目について「重要野菜等緊急需給調整実施計画（前倒し）」を作成し、農水省への届出をおこない、以下のとおり「生産出荷団体緊急需給調整事業」を実施した。

〈実施計画・結果〉

実施期間：平成 22 年 4 月 21 日～30 日（4 月下旬）

○対象品目と数量

品目	計画数量	実施数量
春キャベツ	685 トン	92 トン
たまねぎ	1,080 トン	74 トン

※春キャベツ・たまねぎともに、実施結果は、計画数量に対し大幅な未達となった。

4. 「生産出荷団体緊急需給調整事業」以外の主な出荷促進の取り組み

本会からの要請にもとづき、主産県を中心に以下の取り組みをおこなった。

○主な取り組み事例（5/12 聞き取り）

品目	産地	対応	4 月中旬実績	4 月下旬実績
はくさい	全農茨城	早取り等	1451 トン (前年比 81%)	1820 トン (前年比 84%)
レタス	全農兵庫	早取り等	1663 トン (前年比 78%)	1936 トン (前年比 97%)
ねぎ	全農千葉	早取り等	599 トン (前年比 69%)	690 トン (前年比 114%)
だいこん	全農長崎	早取り等	1389 トン (前年比 86%)	1676 トン (前年比 110%)
きゅうり	全農群馬	下等級品の集荷 拡大、納品規格 の市場、業者と の交渉	1940 トン (前年比 78%)	2075 トン (前年比 103%)
	全農埼玉		980 トン (前年比 73%)	1166 トン (前年比 101%)

5. 総括

- ① 需給調整品目（キャベツ、たまねぎ）は、降雨、低温の影響で計画通りの供給確保（前倒し出荷等）の実施ができなかった。特に、たまねぎは、降雨により、収穫後の風乾に時間がかかり（所要2日間）、出荷に支障をきたした。
- ② 需給調整以外の品目については、品目により効果の多寡はあるものの、複数品目で中旬を上回る出荷量となった。
- ③ 価格については、東京都中央卸売市場の価格で見ると、4月下旬から下降し始め、キャベツ、きゅうり、トマトでは5月4日前後で平年価格（過去5年平均）を下回る水準となった。

なお、指定野菜14品目全体で見ると、5月10日前後で平年価格水準となった。

以上